

令和4年第3回定例会・一般質問

○日 時 令和4年9月8日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	河村 仁志	<p>1. 智頭町地域福祉計画について（福祉課）</p> <p>令和4年3月第4期智頭町地域福祉計画が作成された。第7次総合計画を踏まえて、福祉保健施策の総合計画としての位置づけ、「一人ひとりの人生に寄り添える町へ」をコンセプトとして、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制の構築も取り入れ、第3期福祉計画を振り返りながら、重点活動、地域福祉活動の担い手など、第4期地域福祉計画の今後の方向性を問う。</p> <p>(1) 集落等の居場所づくり、ミニディ・サロン活動の実施など、一人暮らしの方へのサポートシステム整備を行う等、地域共生社会をどう構築していくのか。</p> <p>(2) 住み慣れた地域において、支え・支えられる関係の循環、地域における人と支援の循環、全ての人の生活の基盤としての地域は何が出来るか、地域特性を活かしながらの支え合いの仕組みづくりはどのように取り組むのか。</p>	9:00
2	大河原 昭洋	<p>1. 診療圏域の患者確保について（智頭病院）</p> <p>本町では人口減少に加え今後は後期高齢者も減少していくことが推計されている。地域医療を継続的かつ安定的に提供するためにも、智頭病院の診療圏域の患者確保への取り組みが重要であると考え。</p> <p>(1) 現状をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 患者確保の具体的取り組みをどのように進めようと考えているのか。</p> <p>(3) 県内の様々な医療機関で患者のカルテ情報を共有する「おしどりネット」に参加する考えはないか。</p> <p>2. 高齢者の交通安全対策について（総務課）</p> <p>(1) 増加する高齢者の交通安全確保を図ることは重要な課題と考えるが、具体的対策はどのように行われているのか。</p> <p>(2) 高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が社会問題化しているが、本町独自の啓発活動を行う考えはないか。</p>	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	宮本 行雄	<p>1. 「智頭町社会教育計画」について（教育課）</p> <p>「智頭町社会教育計画」に掲げた「町民一人ひとり智頭町を愛し、一生涯学習意欲を持ち、健康で活力ある町民主体の社会の実現を目指す」基本理念のもと、関係機関、部局と連携し、本町の社会教育を一層推進してまいります。とあります。</p> <p>(1) 計画書策定にあたり、教育長が特に、重点項目と思われることについて問う。</p> <p>(2) 教育長の考えている社会教育について問う。</p> <p>(3) 計画書に、あげられている諸課題についての、解消についての考えを問う。</p> <p>①青少年時期の体験活動不足やスポーツ離れ</p> <p>②文化芸術活動団体の衰退、指導者、後継者不足</p> <p>③社会教育施設、公民館などの老朽化</p> <p>(4) 中央公民館、地区公民館の役割についての考えを問う。</p> <p>(5) 綾木長之助マラソン大会についての考えを問う。</p>	10:40
4	岡田 光弘	<p>1. デジタル社会のまちづくりについて（企画課、総務課）</p> <p>(1) デジタル技術を生かしたまちづくりを進めていくうえで、行政自身の情報化と地域の情報化を進めていく必要があると考えるが、行政の情報化、地域の情報化の現状と今後の方向性や課題をどのようにとらえているのか。</p> <p>(2) 国は本年6月に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を閣議決定した。昨年発足したデジタル庁が司令塔となり、「デジタルの活用で一人ひとりの幸せを実現するために」を掲げて、国家戦略としてPDCAサイクルの徹底を図りながら、本気モードで施策の展開を図ろうとしている。これをチャンスととらえて智頭町らしい取り組みにチャレンジしていく機会ともとらえられるが本町としてどのように取り組まれるか。</p> <p>(3) 本町の総合的、基本的指針を示す第7次智頭町総合計画には、デジタル社会に対応したものではありませんが、環境整備の項目の中に「情報インフラの更新」があるが、その情報インフラを生かしたまちづくりに関する記述はない。本年度が7次総の見直し年にあたるが、現時点での社会の動きを反映したソフト事業を盛り込む考えはないか。</p> <p>(4) デジタル社会を住民に寄り添った形で実現し、その恩恵をすべての住民が享受できるようにするためには、デジタル人材の育成とともに、情報機器に不慣れな人への支援など利用者の視点に立った取り組みが必要と考えるが、今後どのように進めていこうとされるか。</p>	11:15

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
5	波多 恵理子	<p>1. 部活動の「地域移行」について（教育課）</p> <p>(1) 公立中学校の土・日の部活動の「地域移行」がスポーツ庁・文化庁よりそれぞれ提示され、2023年～2025年度の3年間を改革集中期間と位置付け自治体に具体的な取り組みやスケジュールを定めた推進計画の策定を要求しています。智頭町における部活動の「地域移行」の方向性について、問う。</p> <p>(2) 外部指導者の確保・家庭の負担について具体的な考えは。</p> <p>(3) 部活動はどうあるべきなのか広い視野で地域ぐるみ、コミュニティスクールも一緒になり見つめ直すよい機会にはどうか。</p>	13:00
6	西尾 寿樹	<p>1. どうだんつつじの支援について（山村再生課）</p> <p>(1) 智頭町の町花である、どうだんつつじの生産者が減少しているが、維持・拡大のための振興策は、何か考えているのか。</p> <p>(2) 来年こそは、智頭町のためにも生産者のためにも、どうだん祭りを再開できるように、町としても支援できないか。</p> <p>(3) どうだんつつじをふるさと納税の返礼品に組み込むことは、できないのか</p> <p>2. 智頭病院の運営について（智頭病院）</p> <p>(1) 院長の不在が長きにわたっていたが、10月に就任にされると聞いている、その院長に町として智頭病院の運営に何を期待されるのか。</p> <p>(2) 女性特有な悩みのためにも、婦人科の再開は欠かせないと思うが、何か対策を考えておられるのか。</p> <p>(3) 訪問診療を充実するため、2人の内科医が増員され、智頭町専門医等研究資金貸与条例が4月1日に施行されたが、現在の状況はどのようになっているのか。</p>	13:35
7	谷口 翔馬	<p>1. 住民満足度について（企画課）</p> <p>(1) 町長が住民満足度の高い町と公約に掲げて2年が経ち、住民満足度をどのように把握しているのか町長の所見を問う。</p> <p>2. 定住対策について（企画課）</p> <p>(1) 町長の公約にある、ゆめが丘の増設の計画について町長の所見を問う。</p>	14:20

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。